

令和6年度とよたシニアアカデミー通年コース

文化工芸学科 10月の講座風景

10月のテーマは、「豊田の歴史」と「史跡巡り」です。豊田市の文化財の話、100年前の豊田の様子、この町の特質など多岐に渡って学習しました。後半は、視点を変えて交通の発達とともに変わっていった豊田について学んだ後、バスで現地見学へ。名鉄三河線旧三河広瀬駅舎、平戸橋勘八峡、百々貯木場跡、やきものの神様を祭る灰宝神社などをまわりました。「えーそうなの?」「初めて知った!」の声が飛び交う一日でした。

①文化財からみる「とよた」10/2

②拳母藩士の幕末近代 10/9

豊田市美術・博物館
森 泰通 氏

郷土愛に溢れた講師の講義は、面白かったね

民芸の森に
海老名三平
宅があるよ

海老名三平を知っていますか?

幕末近代を生きた海老名三平は、
拳母藩剣術師範です。
拳母二万石に過ぎたるものは、大手
御門に海老名三平と謳われました。



百々古墳の三角縁神獣鏡



山中観音堂の千手観音



大塚古墳装飾須恵器



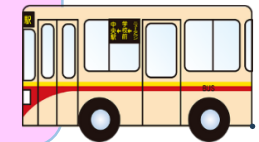
織田信長像

【受講生ふりかえりより】

- 改めて豊田市の歴史の長さ、深さを認識する良い機会でした。とりわけ足助地区の鈴木家を詳しく紹介していただき勉強になりました。
- 豊田市の文化財の多さと、歴史的に価値の高い有形、無形の文化財に驚きを感じました。郷土に偉人がいた事に誇りを抱きました。
- 丁寧な解説で、とても分かり易かったです。

①交通からみた豊田の歴史と文化財 10/23

② " (現地見学) 10/30

豊田市文化財課
児玉 文彦 氏

水管橋から矢作川の流れる見受講生



水管橋から見た越戸ダム



三河広瀬駅は、登録文化財です

【受講生ふりかえりより】

- 市内には、普段気に留めずに通り過ぎている場所にも重要な文化財や構造物がある事を知り、先人の知恵や社会貢献について学ぶ一日であった。特に民芸館から徒歩で訪れた水力発電所、勘八水管橋、越戸ダムの眺め、ダムの魚道等は木々に囲まれ秘密基地の感じ、再度訪れてみたい所だ。また、百々貯木場跡では、矢作川から木材を出し入れしている様子が思い浮かび、当時の活気を感じることが出来た。
- 前田栄次郎さん、梅村源次郎さん、本多静雄さんらが郷土の為に一心に尽力された事を知り感動した。百々貯木場跡、灰宝神社も初めて知った。豊田の事を沢山知ることができ、講師に感謝します。



前田公園の階段は101段



陶器のこま犬は珍しい!



丸加醸造場の大きな桶に感動